

ピースあいち特別企画

丸木位里・丸木俊 「原爆の図」展

—ピカは人がおとさにや おちてこん—

丸木位里・俊は原爆投下直後、位里の郷里広島で、残留放射能を浴びながら、傷ついた人々の救出にあたりました。

「原爆の図」は、その体験をもとに

1949年から30年の歳月をかけ描いた15部作です。

ピースあいちではこれまで5回、7作を展示してきました。

今回は第3部《水》・第14部《からす》を展示します。



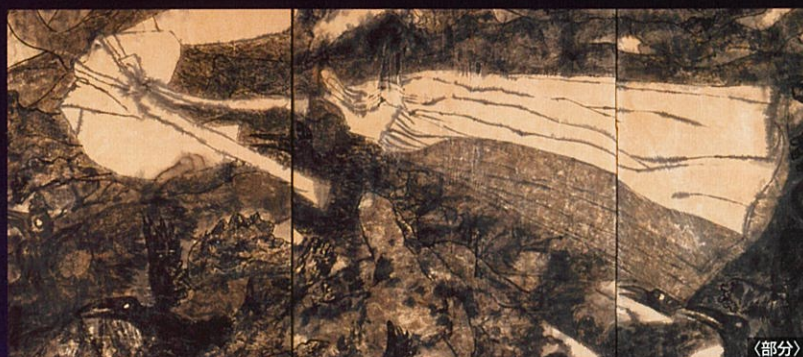
〈部分〉



第3部《水》

水、水。人々は水を求めてさまよいました。燃える炎をのがれて、末期の水を求めて一傷ついた母と子は、川をつたって逃げました。水の深みに落ち込んだり、あわてて浅瀬へのぼり、走り、炎が川をつつんであれ狂う中を水に頭を冷やしながら、のがれのがれて、ようやくここまでできたのです。

(1950年 屏風四曲一双 縦1.8m×横7.2m)



〈部分〉



第14部《からす》

「原爆がおちけたあと、一番あとまで死骸が残ったのは朝鮮人だったとよ。朝鮮人たちの死骸の頭の目ん玉は、からすがきて食うとよ。」(石牟礼道子) 屍にまで差別を受けた韓国・朝鮮人。屍にまで差別した日本人。共に原爆を受けたアジア人。美しいチョゴリ、チマが、飛んで行く朝鮮、ふるさとの空へ。

(1972年 屏風四曲一双 縦1.8m×横7.2m)

関連イベント

「いま 原爆の図に向き合う」

・丸木美術館学芸員：岡村 幸宣さん

7月26日(日)13:30～15:00

1階 交流のひろば

参加費：特別展入場料が必要です

定員：50名

(要電話予約 TEL.052-602-4222)



2026 7.21(火)》9.5(土)

開館時間／11:00～16:00 (最終日は15:00まで)

休館日／日曜日、月曜日

(但しイベント開催の7月26日、8月30日の日曜日は開館)

特別展入場料／大人800円 小中高生200円

(入館料 大人300円 小中高生100円を含む)

会場／3階 展示室

[博物館相当施設]

戦争と平和の資料館

ピースあいち

〒465-0091 名古屋市名東区よぎ台 2-820

TEL&FAX 052-602-4222 <https://peace-aichi.com/>

*この企画展は、アークス仏教国際協力ネットワークの「街の灯」支援事業を受けています。

市バス・地下鉄でのおでかけが便利でお得です!

ドニチエコきっぷ・一日乗車券・24時間券を
利用してご来館の方は、入館料割引!

[大人] 800円→700円

[小中高生] 200円→150円

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」「24時間券」の利用範囲は、交通局ウェブサイトをご覧ください。

※他の割引・サービスとの併用はできません。



※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック「なごや得ナビ」をご覧ください。

関連イベント

◆高校生と学び伝える平和 —トークと映画上映—

8月22日(土) 13:00～1階 交流のひろば
参加費:特別展入場料が必要です(定員:50名)
(要電話予約:TEL.052-602-4222)

〈トーク〉

・愛知県原水爆被災者の会(愛友会)会長:
金本 弘さん

2024年ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の
代表理事。自らの被爆体験を語り続けています。

・愛知淑徳高等学校JRCのみなさん

原爆症で苦しむ子どもたちを励まそうと1955年
から始めた折り鶴。愛知淑徳高等学校JRCの活動
は今も引き継がれています。



〈映画〉「影の書 THE BOOK OF SHADOWS」

(2025年作・上映時間50分)

監督:ジュゼッペ・カリエリ 制作国:イタリア



広島を消し去った原爆投下から80年、炎が残し
た影の中を静かな旅が進む。最後の生存者たちの
声が遠い記憶のように響き、再び呼吸する街の映
像と重なっていく……。イタリア人の監督による
2025年広島国際映画祭で上映された作品。

◆ヒロシマ、ナガサキの怒りと祈り —朗読と映画上映—

8月30日(日) 13:30～1階 交流のひろば
参加費:特別展入場料が必要です(定員:50名)
(要電話予約:TEL.052-602-4222)

〈朗読〉ピースあいち朗読の会(オリープ)

〈映画〉「影の書 THE BOOK OF SHADOWS」
(2025年作・上映時間50分)

また、現在行われている丸木美術館リニューアル
工事中に見えられた資料のなかから、1952
年・1953年に愛知県内で開催された「原爆の
図巡回展」のチラシやポスターなども展示します。

2012年からピースあいちが続け
てきた「原爆の図」展は今回で6回目と
なりました。今年の夏は丸木位里の母・
丸木スマの作品3点「ピカのとき」「内海の
魚」「花と猫」も展示します。丸木スマは
73歳から本格的に絵筆をとりました。
日常のいのちへのあたたかみを込めて、
位里俊の作品とは異なる角度から戦争
と平和を考える手掛かりを与えてくれます。



〈丸木スマの作品〉 1.「スマの言葉」 2.「ピカのとき」(1950年作) 3.「花と猫」(1954年作)

〈発見された資料〉

- 1.資料チラシ(1952年愛知大学新聞部)
- 2.資料ポスター(1952年愛知大学新聞部)

夏の戦争体験を聴くシリーズ

ピースあいち1階 交流のひろば

8月1日(土)～15日(土) 14:00～15:00 (日・月曜日を除く11回。定員制・要電話予約)

ピースあいち戦争体験を語り継ぐ会会員によるお話。詳細はHP・Xからご確認ください。

〔博物館相当施設〕

戦争と平和の資料館

○開館時間 11:00～16:00

○休館日 日曜、月曜

○入館料 大人 300円

小中高生 100円

※有料企画の場合は入場料が必要です。

〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台 2-820

TEL&FAX 052-602-4222

<https://peace-aichi.com/>

▶地下鉄東山線「一社」①出口から北へ徒歩12分

▶地下鉄東山線「上社」から市バス上社11系統
「じあみ」下車、西へ徒歩3分

▶駐車場(有料(300円)2台(障がい者用無料1台))



最新情報は
こちらから



ピースあいち 青い看板が目印です

